

2016年12月2日

(株)えがお 海外教育支援事業 子どもたちの健やかな成長のために
ベトナム イエンバイ省の学校校舎を建設
11月17日に開校式典を挙行

株式会社えがお（代表取締役社長：北野忠男/所在地：熊本市東区東町4-10-1）は、子どもたちの健やかな成長を支援する社会貢献事業として、国際NGO ワールド・ビジョン・ジャパンを通じ、ベトナム社会主義共和国において学校の校舎1棟を建設し、2016年11月17日（木）に開校式典が行われ、弊社代表取締役社長の北野が出席いたしました。

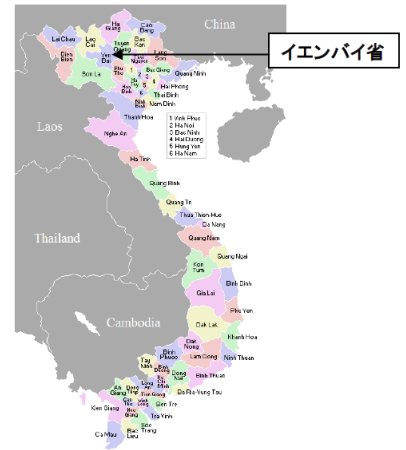


目的 えがおは、「すべての人々に健康と笑顔を創造し、しあわせな社会創りへ貢献する」ことをミッションに掲げております。海外教育支援は、支援が届きにくい開発途上国における子どもたちの教育環境を改善することで、心身ともに健やかな生活を送る一助になればとの思いから始めたもので、2015年度タイ チェンライ県に次いで2校目となります。

支援学校 ベトナムは、約8784万人を超える人口を抱え、今後も高い経済成長が見込まれている国といわれる一方、ハノイ、ホーチミンなどの都市と地方部の格差はますます広がり、少数民族が多く住む地域の開発は大幅に遅れています。支援対象地モーバン・コミュニンの住民846世帯は、ザオ族と呼ばれる少数民族で、全世帯のうち半数以上が政府の定める貧困線以下という最も貧しい地域のひとつです。この地区の児童71名が在席するモーバン小学校ケホップ分校に2教室からなる校舎1棟の建設、遊具及び学用品の提供を行いました。

式典では、北野から「お金や財産はいつか無くなりますが、教育はずっと残ります。教育があれば失った物も取り戻すことができます。この校舎で仲良く勉強して、たくさん親孝行をしてください。皆さんは国の未来です。たくさんの人の笑顔と力強い国を作ってくれることを心から祈っています」と挨拶し、現地の方より「子どもたちに笑顔を、そして子どもたちを見守る私たちに皆さまの温かいお心と優しさを届けてくださり、ありがとうございます。このご支援を、地域の人々と子どもたちのために最大限に活かしていきます」とお礼のお言葉をいただきました。

■建て替え前の校舎



建て替え前は、天井が吹き抜けとなっており雨風が吹き込むような状況

■新校舎



新しい校舎で授業を受ける子どもたち

新しいバッグに嬉しそうな子どもたち

■開校式典の様子



寄贈プレートをお披露目



代表取締役社長 北野より挨拶



記念品の時計とサッカーボールを寄贈